

おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 3 号 (4 月 17 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2A 日大 B 戦 粘って引き分け

4 月 13 日 (土) Y 2 A 第二節日大山形 B 戦が行われました。山東 (と山南) にとっては第二節ですが、日大 B にとっては開幕の第一節。B チームには (特に) 負けたくない気持ちはあるが、昨シーズンの日大 B の成績を見るに、B チームだからという緩みは禁物とわかる。練習試合で何度もお世話になっているチームだけに、山東の誰しも B も強いことを知っている。第一節山南戦よりも良い内容の試合ができるか。

場所は山形中央 G。**清野 OB 会長・後藤報道局長**は、先週に引き続きいらっしゃる。今週はこのお二人に加え、**佐竹校長**も顔を出して下さる。日大の J コーチが本部で最敬礼。元サッカー部顧問の校長であることを改めて感じさせる。**存在感までは薄くなっていない**。それだけではありませんでした。3 級審判ライセンスを持っている 3 年生サブちゃんことコーヘーに「先生の主審を見てみたい」とそそのかさされ、第一試合山形中央 B-山形南の主審を務めていると、フェンス裏に見かけたことのある人影が。「もしや」と思いましたが、「まさかな」という気持ちが先だって、会釈しないでおりましたら、あちらから会釈して下さい。「やはり遠藤先生だ」。**元山東サッカー部顧問にして現在高島高校剣道部顧問の遠藤先生**が、山形にて剣道の用事の後、そば屋さ〇ん¹経由で山形中央 G に応援に駆け付けて下さったのです！ 残念なことに、現役生で遠藤先生を知っている人がおらず、遠藤先生がいらっしゃったことでテンション上がっているのは今野だけ。それはいたしかたない。応援席には先週に引き続き多くの保護者の皆さまが駆けつけている。役者が揃ったこの試合、あとは選手がピッチで頑張るだけ。

前半の入り、悪くはない。前節は入りから前半終始押し込まれただけに、落ちついた立ち上がりを見せる。特に、ボランチの一年**タツル** (卒業生ヒロアキの弟) と三年ヨシタカが競り合いもがんばっているし、ボールも落ち着かせている。特にヨシタカは早い球離れでボールを散らし、日大の圧力をかわしている。トップ下のナラオカは、フィジカルはないものの、タイミング良くボールに絡み、ルーズボールを可能性のあるボールに変えている。右サイドには前節に引き続き、一年**ムンタリ**ことリョウタが先発。だが、やはり、日大は日大。ヘディングで優勢に立ち、フリックフリック²の連発で、ボールをぐいぐい前に進めて押し返してくる。A だろうと B だろうと、力強く、プレーに迷いが無い。日大のサッカーはこうする、というカラーがはっきりしていて、一貫した指導をうかがわせる。惜しくもオフサ

¹ 山形中央の近くにあるおいしいお蕎麦屋さんです。遠藤先生とはよく行きました。好き過ぎて、昼行くだけでは飽き足らず、二人で夜飲み会をしたこともあります。旦那さんの息子さんは、モンテ Jr. Youth 村山から市内某有名私立高校に通っているボランチの好選手です。

² フリック flick とは、転がるボールに軽く触り、軌道を変えるプレー。ボールをフリックするとは「ボールを払いのける」というのが直訳か (flick という英語だった場合)。

イドにはなったがネットを揺らすシーンや、左足でビシッと打てていれば大チャンスになったシーンなどあり、チャンスの数では山東ペース。ただ、しっかり押し返し、セットプレーからチャンスをうかがうなど、日大 B の攻撃も脅威。山東ペースだとしても、やや、がつく前半。

後半は、故障明けのリクが徐々に本領発揮し、左サイドからチャンスを作り出す。しかし、コテッチャン、リクともに、やはり、左に流れたときの左足のフィニッシュがいまじゅういちで、チャンスをファイにすること多々あり。そんなこんなで、やや優勢に進めつつも、しっかりフィニッシュを打てないでいると、後半半ばで与えた CK。すばらしい軌道で蹴られたボールは、ファーサイドへ。GK が相手選手をかき分けて前に出ることができない、GK に任せファーサイドの選手が対応を躊躇した、という山東の作った隙を見逃さず、きっちりヘディングで詰められて、失点。やはり日大のセットプレーは脅威。さあ、ビハインドになって苦しくなってきました山東。ここで追い付き、追い越すようだと本物なのだが、と期待と不安を持ってピッチを眺める。すると、しばらくして、左サイドでボールをもったヨシタカが斜めに必殺のスルーパス！ いやあ、**入学以来ヨシタカの一番のパス**を見ました。ちゃっかり抜けだしたのはコテッチャン。南米キックの使い手 GK ゴメ弟君³の果敢な飛び出しもひらりとかわし、左足で丁寧流し込む同点弾を放つ。さあ、振り出しに戻りました。その後、一進一退。双方にビッグチャンスがあるも決め切れず、結局 1-1 のドロー。

B チームとはいえ、さすが日大、と思わせる圧力がありました。B チーム相手だけに特に勝ち切りたかった山東でしたが、粘りを見せ、最低限の結果は残したのではないのでしょうか。少なくとも、前節に比べ、**攻守にわたりチームが機能している**ように感じました。次節乞うご期待です。今週末は、土曜 Y リーグ、日曜 M リーグ（県総体の切符がかかり、地区総体に直結する村山地区リーグ）となります。引き続き、応援よろしくお願ひします。

4月20日（土）Y2A第三節 山形中央B戦 @白鷹町東陽の里サッカー場 10:00~

山形から長井に向かう 348 号線沿い。長井の手前、左手に見えます。昨年人工芝になり、選手権準決勝も行われました。

4月21日（日）Mリーグ第一節 山形学院戦 @山形明正G 10:00~

ウェルサンピアの駐車場入り口を右手に曲がり、ウェルサンピアの温泉の方向に回り、右手出口から出て直進すると、あります。これもまた昨年、山形県内の高校としては初めて、人工芝を整えました。

³ 今年卒要したゴメの弟、日大の 2 年なんです。ちなみに南米キックとは、GK が手でもったところからボールを蹴る際に、足を上下というよりは、横方向にボレーキックのように使い、逆回転をかけ、ライナー性だが飛距離の出るボールを蹴るやり方のこと。80 年代南米の GK がよくそれを使いこなしており、我々はそれを南米キックと呼んでおりました。